

# 市数研だより

平成27年3月 日発行 NO. 7 熊本市中学校数学教育研究会

去る3月19日（木）東部中学校にて、今年度最後の市数研定例会が行われました。今回は、今年ご退職をされる東部中学校の山田昭雄校長先生による記念講話と宮本晃利先生（江原中学校）による数学ミニ講座「これからの数学指導に向けて」が行われました。市教育委員会より竹下教育審議員をはじめ、澤田指導主事、川上指導主事にも参加していただき、とても充実した会になりました。



竹下教育審議員

## 1. 市数研副会長の徳永校長先生（託麻中）のあいさつ



みなさん、こんばんは。今年度最後の定例会となりました。今回は、山田校長先生のご退職記念講話と宮本先生による数学ミニ講座が行われます。とても楽しみにしています。

先日、資料を整理していたら戦前の小学校の算数の教科書を見つけました。今の算数の教科書と比較してみると、「お母さんがおっしゃいました。」や「近所の人に配ろう」と思い・・・」など数学以外の部分でも教育に対する思いが伝わってきます。もう一度、以前の教科書の良さを見直してみるのも大事ではないかと感じました。今日も実り多き会になりますように、どうぞよろしくお願いします。

## 2. 記念講話「我が教師人生に悔いなし」

東部中学校校長 山田 昭雄先生

### （1）はじめに

今日は、このように多くの方々に参加していただき、ありがとうございます。今日は、私が歩んできた教師生活36年を振り返りながら、自分自身に取り組んできたことや感じてきたことなどを話していきたいと思います。その中で、1つでも多くのことを皆様の今後の教育活動に生かしてもらえればと思います。



### （2）教師を目指したきっかけ

私は、熊本大学工学部出身です。なぜ教師を目指そうと思ったかというと、大学の同級生から塾のアルバイトに誘われたのがきっかけとなりました。教

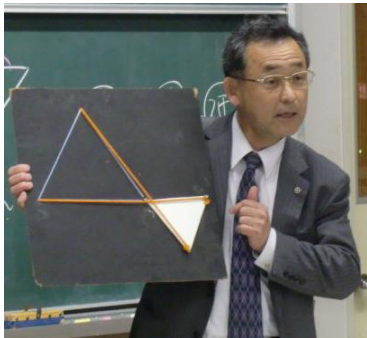
壇に立って授業をした時に、『教師になりたい！』と強く思ったことを思い出します。教員免許を持っていなかったのに、大学院に入学してからは中学校数学の免許取得に必要な単位を頑張って取ることができました。

### (3) 教師生活の始まり

最初は、水俣第一中学校に講師として赴任しました。その時に校長先生から助言をいただき、小学校の教師を目指そうと決意しました。通信教育で小学校の免許を取り、採用試験に合格して託麻原小学校に初任者として赴任することになりました。

その一年目に託麻原小学校で県算大会が行われ、私は授業者となりました。その時に行った授業が、『平行四辺形の面積の求め方』でした。授業をすることによって、大変勉強になりました。また、緑化主任としても、緑化コンクールで文部科学大臣賞を受賞することができました。その後、大道中学校へ転勤となりました。全学年の数学の教材研究をじっくり行うことが出来ました。

### (4) 西山中学校数学教育研究会の発足



次に赴任したのが、西山中学校でした。その時に、初めて市数研に参加をしました。河島先生との出会いがきっかけでした。そして、県数大会(出水南中学校)の授業者が河島先生に決まり、みんなで河島先生をサポートしようということで発足したのが、『西山中学校数学教育研究会』でした。毎月、担当者が研究授業を行い、検討会をす

るという流れでしたが、高木先生の提案で、みんなで指導案を作成して研究授業を行い、検討会をするという方向性に変えました。このような取り組みを継続して行っていく中で、数学について深く考え、お互いに指導技術や教具作りの腕を向上させていきました。また、日数教大会(静岡)での発表や九数大会(白川中学校)での授業も本当に良い経験となりました。



### (5) 市数研事務局長としての6年間

平成4年から、市数研の事務局長を6年間務めました。事務局長として、平成6年と平成9年の県数大会を経験出来たことがとても大きかったです。研究収録を読み返してみると、この場にいらっしゃる先生方がたくさん投稿されています。その先生方が、今でも熊本市の数学をリードされていることを大変嬉しく思います。

### (6) おわりに

平成23年に『週刊教育資料』の実践校長塾というコーナーに、自分の集大成として4週連続で投稿しました。1週目は、校長としてのビジョンを書きました。「挨拶・掃除の大切さ」や「鏡張りの職員室」、「すぐ動く職員集団」、



に並べたシートになっているので、選んだ数字があるシートの左上の数をつし合わせると選んだ数になります。この二進法は、高校数学 A で学習する内容です。高校数学につながりという目的でも価値があるのではないかと思います。

#### (4) これからの自分の数学指導について～SWOT 分析を通して～

|       | 内部環境<br>生徒・教師の実態、教育機器など | 外部環境<br>地域・保護者の実態、外部人材、<br>周辺の教育関連のハード面 |
|-------|-------------------------|-----------------------------------------|
| プラス面  | 強み (Strength)           | 機会 (Opportunity)                        |
| マイナス面 | 弱み (Weakness)           | 脅威 (Threat)                             |

いま企業でも実践されている SWOT 分析があります。Strength (強み)、Weakness (弱み)、Opportunity (機会)、Threat (脅威) を内部環境と外部環境に分けて考えていき、戦略を立てるというものです。この分析を数学教育に生かしています。例えば、強みは、教育機器が充実しているや指導力ある先生が多い。弱みは、文章問題が苦手な生徒が多い。機会は、小学校と中学校の連携が強い。脅威は、家庭学習の定着ができていない。このように現状を振り

返り、書き出していきます。そして、この4つの要素から、機会を最大限に活用する方法や強みを活かして脅威に対抗する方法、弱みによって機会を失わない方法、弱みと脅威が重なる最悪の事態を回避する方法を考えます。このように教育戦略を考えていくことで、よりよい教育環境を作り上げることができるのではないかと考えています。

#### (5) おわりに

私が今回発表したことを、次年度の数学指導に少しでも活かしていただければ幸いです。お忙しい中、私の数学ミニ講座に参加していただき、本当にありがとうございました。

### 4. まとめ (市数研会長 山田校長先生)

本日は、ありがとうございました。退職となる年を、九数大会で締めくくることができました。あの授業づくりで共に苦労した仲間は、これからも永遠の仲間であります。そのような仲間を大切にしていきたいですね。真摯に研究を続けている団体は、この市数研しかないと思います。この市数研に参加することで、自分自身の指導力の向上につながりますので、是非多くの先生方に参加していただきたいです。また、忙しい学校現場ですが、時間を作り授業研を行う努力も続けて欲しいです。これからも共に学び続けていきましょう。本日は、お疲れ様でした。



## 5. お知らせ

平成27年度の市数研総会・研修会（歓送迎会）を

**5月8日（金）18：30～ アークホテル**

にて、行います。詳細は、後日 FAX にて各学校の数学科主任へお知らせがあります。皆さん、ぜひご参加ください！！

## 6. 編集後記

今回の定例会では、山田校長先生の記念講話を聞くことができ、私自身大変勉強になりました。山田校長先生の数学に対する情熱やいつまでも学び続ける姿勢に、私自身もパワーを頂くことができました。現状に満足せずに、向上心を持って来年度も数学の勉強を頑張っていこうと思います。若手の先生方もこの市数研で共に学んでいきましょう。来年度も**若手の先生方の積極的な参加を楽しみにしています。**

最後に、この市数研だよりを毎月読んでいただき、ありがとうございました。来年度は、さらに魅力的な市数研だよりを目指していきたいと思います。この場を借りて、御礼申し上げます。

ご質問やご感想がありましたら、下記のアドレスまでお願いします。

tuda.nobuyoshi@t.kumamoto-kmm.ed.jp

- ・定例会へ多数の先生方のご参加をお願いします！！
- ・各学校から1名以上の参加をぜひともお願いします！！
- ・特に若手の先生方、遠慮せずに参加して、市数研の底上げを図っていきましょう。主任の先生方、呼びかけをよろしくお願いします。

文責 三和中学校 津田展良